

病気の見分け方 (トマト・キュウリ)

害虫は目に見えますが、病気の場合は発生が確認された時には、手遅れの場合があります。そのため、野菜を定植した時にどのような病気が発生するかを予測し、予防防除することが重要となります。各作物の病気発生時期は、ほぼ決まっていますのでお近くの営農経済センターへお問い合わせください。



営農部
販売企画課
鈴木 崇也

野菜も人間と同じように病気にかかることがあります。しかし、植物に発生する全ての病気にかかるわけではありません。ある野菜は数種類の病原菌にのみ、また病原菌は特定の2~3種類の野菜にのみ寄生するというように種類が特定されています。病気の発生を抑えるためには、病原菌がいかに活動しにくい環境をつくるかがポイントで、畦の高さや排水路の確保などの耕種的対応もひとつです。

トマト



黄化えそ病

葉や茎に褐色のえそ斑を生じ、果実にも褐色斑を生じる。



かいよう病

茎の中心部が褐色にやわらかく腐敗。果実や葉の表面に黒の目状の斑点が生じる。



輪紋病

葉に円形~不整形で褐色の同心輪紋のある病斑を形成する。



青枯病

葉が緑色のまま急にしおれ、2~3日で枯れる。茎の維管束が褐色して白濁色の汁がにじみ出て、根が腐敗する。



萎凋病

株の下方の葉から黄色くなってしおれ枯れる。茎の維管束が褐色して根も褐色腐敗する。

キュウリ



斑点細菌病

葉の葉脈に区切られたようなやや角形の水が浸みたような病斑を形成する。



べと病

葉に黄色で多角形の病斑を生じ、その裏側に暗色のカビを生じる。



炭そ病

葉に円形褐色の病斑を生じ、中心部に孔が空きやすくなる。



相斑病

葉に中央が灰褐色で5~10mmほどの不整形の病斑を形成する。



つる枯病

葉腋から内部にくさび形の褐色病斑を生じる。



つる割病

はじめ日中に葉がしおれ、朝夕は回復するがやがて枯れる。根が褐色腐敗する。



黒星病

病斑上に黒カビが生じる。果実は病変部から丸曲する。



うどんこ病

葉や茎にうどんこのような白いカビが発生する。



疫病

多湿時に病斑や葉の裏に白い霉状のカビが発生する。乾燥が続くと病斑は乾燥し、褐色してもろくなる。



ウイルス病

害虫を媒体として感染。トマト…黄化葉萎病

トマト・
キュウリ
共通

おすすめ資材

病害予防の定番!!
ダコニール1000

病気の原因はほとんどが“カビ”。予防に心がけ病気に強い野菜を作りましょう。『ダコニール1000』は、60作物以上と130種類以上の病害に登録があります。早めの防除で、省力・低コスト!!ラベルをよく読んでお使いください!

お問い合わせは、各営農経済センターまで!



初年度営農経済センターの
進め方をおススメします!